

|     |       |     |         |     |     |
|-----|-------|-----|---------|-----|-----|
| 議 長 | 局 長 等 | 次 長 | リ ー ダ ー | 担 当 | 合 議 |
| Ⓜ   | Ⓜ     | Ⓜ   | Ⓜ       | Ⓜ   | Ⓜ Ⓜ |

様式第6号（第8条関係）

令和 5年 10月 5日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 藤原 芳巳

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告します。

記

- 1 活動月日 令和5年10月3日（火）
- 2 活動場所 兵庫県宍粟市千種町黒土 187番1  
黒土川小水力発電所
- 3 活動目的 小水力発電の実現可能性を探るため
- 4 活動内容 現地にて3名の関係者から施設の説明を受け、意見交換した

5 活動成果 黒土川小水力発電所は、令和5年3月に運転を始めたばかり。地元自治会の有志メンバーを中心とした10名が合同会社を作り、千種川水系黒土川での小水力発電事業を基盤に千種町全体の環境保全・地域活性化を目的として、運営している。農業用に取水した水の余剰分を使って発電、オーストリア製の最新型水車発電機を導入し、最大出力は40キロワットを超えており、50世帯分の年間使用量を見込む。

各地からの視察が相次ぐこの地区の取り組みだが、実現までに8年を要している。最も懸念を感じていた取水設備は、コアングダ効果を活用したスクリーンが採用され、石や砂、枯葉やごみの侵入が完全にブロックされているばかりでなく、自浄作用により日常的なメンテナンスを必要としない。配管は丈夫で柔軟性のある高密度ポリエチレン配管が使用され、工期の短縮や費用の削減になっている。水圧管の長さは728m、高低差50.1mを下り、発電所建屋内のペルトン水車を回している。

今回は、養父市における小水力発電実施の実現可能性という視点で調査し、実現のためのポテンシャルを持った地域が、養父市内にも多数見いだせるとの確信を持った。ただし、地域において、責任と覚悟をもって全体を担う事の出来るリーダーとそれを支えるチームの体制構築が必須である。信頼できるコンサルタントの存在も確認でき、未来に可能性を感じられる視察となった。

